



三次中央会報

ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com

例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル

例会日 / 月曜日 12:30~13:30

会長 / 光 永 義 則
幹事 / 中 西 佳代子

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム 新年の神事／賀寿会員、年男会員卓話
酒井会員、杉谷会員、山縣会員、圓道会員
- 次回例会日時 2025年1月27日(月) 12:30~
- 次回プログラム ゲスト講演 三次市長 福岡誠志様

●2024~25年度 国際ロータリーのテーマ



●2024~2025年度 三次中央RCスローガン
和敬で繋ぐ奉仕活動

■第1446回例会記録

- 日時.....2024年12月23日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員
- 「DEI」唱和.....全員
- ゲスト紹介
古民家カフェ チャイハナ 中川裕美様
- ビジター紹介
吉舎ロータリークラブ50周年案内
星田昌吾会員 (吉舎RC)
吉崎秀峰会員 (吉舎RC)



■開会挨拶.....光永会長

豊かな自然「比婆道後帝釈」国定公園に思う

昨週のクリスマス家族会は多くの家族の皆様に参加していただき盛会裏に終わることが出来ました。事前準備等に関わっていただいた皆さんに感謝申し上げます。

さて、我が家に直面する比婆山連峰は昨年、国定公園指定60年となりました。公園指定は私が12歳の時でした。そこには貴重なブナ林があり、国定公園の指定はブナ林があっこそ、だそうです。ブナ林は日本海側と太平洋側で植生が

異なり中国山地のほぼ中央である比婆山のブナ林は両方の性質を持ち、学術的にも価値は高いそうです。ブナの木と言えば一番に思い浮かぶのは水資源ではないでしょうか。広島県北にある社有林「アサヒの森」が昨年で80年を迎えました。「ビール1㍓造るのに4㍓の水を使うと言われて



日本でも今後、水資源は大事になっていくでしょう。持続可能な社会や環境負荷ゼロを掲げ、国内のビール工場で使う水と同量の地下水を蓄える森林を保全する目標を「アサヒの森」は昨年達成しました。我々も環境意識を高め貴重な林と言う自然の財産を守ることは人々の最大の責任であるかもしれません。以上会長挨拶とします。



形成庵にて二月十一日、初稽古を執り行いました。投稿 光永会長

■第14回米山クラブ功労賞授与.....



■50周年記念行事の案内.....吉舎RC

年の瀬押し迫ったところでお時間をお取りいただきありがとうございます。吉舎ロータリークラブは令和7年2月22日に創立50周年を迎えます。つきましては、2月9日に記念講演会と記念式典を行います。詳しくは書面をお送りしておりますので、ご確認下さい。



吉舎ロータリークラブは三次ロータリークラブを親クラブとして、東城、三次中央、庄原ときょうだいクラブがありますが、皆様のご指導ご鞭撻をお掛けして50周年を迎えることが出来ました。御礼を申し上げるとともに、記念行事へのご参加をいただきたく、よろしくお願い致します。

当日の記念講演会ですが、元NHKアナウンサーの杉浦圭子さんが来られます。お父様が被爆者で、家族伝承者としてお話しして下さいます。今月中国新聞9面に記事がありまして、タイミングが良いと思われました。その後は懇親会ですが、9人で何とかおもてなしさせていただきますので、どうぞご参加下さい。

■幹事報告.....中西幹事

- 訃報がありました。パストガバナー岡田幹矢様が12月17日にご逝去されました。
- 吉舎ロータリークラブ50周年行事の登録料は本日までにお願いします。
- 本日例会終了後、臨時理事役員会を行います。
- 次回例会は令和7年1月20日です。次回理事役員会も同日ですので、よろしくお願い致します。

■出席報告.....石田委員長

● 第1444回12月9日

会員数	35名	Make-up	0名
欠席	7名	出席合計	28名
欠席者のうち規定免除	3名	出席率	87.50%

● 第1446回 本日の出席は35名中29名です。

■親睦委員会.....栗本委員長

先週のクリスマス家族会はお越しいただいた方、親睦委員会の方、司会の方など皆様のおかげで大過なく終わることが出来ました。誠にありがとうございました。つきましては、請求書をお持ちの方は早急に手配ください。よろしくお願い致します。

■SAA.....阿部副SAA

● 会員誕生日
...和田君



● ビジターニコニコBOXへご出宝

吉舎RC...吉舎ロータリークラブ50周年を迎えます

● 会員ニコニコBOXへご出宝

- 光永君 本日が今年の最終例会です。来年もよろしくお祈いします。中川様、よろしくお祈いします。(大)
- 和田君 歯科検診で前歯の永久歯が残っていました。これから大人になる75才です。(大)
- 小根森君 ゲスト中川様お久しぶりです。今日は楽しみにしています。
- 中島君 中川様、本日は遠いところお越し下さり、ありがとうございます。よろしくお祈いします。
- 大井君 1年が経つのが早いですね。次年度が近づいて来るのが恐いです。
- 杉谷君 クリスマス家族会、孫たちが大変喜んでいました。ありがとうございました。
- 山崎君 クリスマス家族会お疲れ様でした。
- 安部君 クリスマス家族会有難うございました。
- 中西君 ゲストをお迎えして。あっという間の1年でした。色々お世話になりありがとうございました。来年もよろしくお祈いします。

「本年最終例会を迎えて。来年もよろしく」

沖君、上田君、熊本君、沈君、山縣君、池田君
平田君、酒井君

ニコニコBOX本日出宝額 21,000円

本日はゲストに、中川裕美様をお迎えいたしました。

中川様は、30年以上に亘り、新疆ウイグル自治区の少数民族について色々な活動をされ、また、北九州市門司区でウイグル茶を出す「古民家チャイハナ 甲斐大策ギャラリー グリシェンカフェ」も開かれています。

それでは、中川様よろしくお祈りします。

中島清貴社会奉仕委員長



皆さんこんにちは。中川裕美です。

私はもと甲奴郡総領町木屋の生まれです。生家は灰塚ダムで沈んだエリアです。今、家は木屋には無く、田房の里というところにあります。そこに18歳まで住んでいました。学校は灰塚小学校、三良坂中学校、日彰館高校です。というわけで、総領町育ちではなく、どちらかといえば、三良坂育ちです。

日彰館高校在学中にマルコポーロに興味を持ち、高校3年間は職員室の社会科の先生のところに通い詰めていました。これがその当時私がまとめたマルコポーロについての本です。文章も、絵も全て私が描きました。そして、その時に心に芽生えたのが「いつかマルコポーロの辿った道を、逆方向で辿ろう!」でした。卒業後は大分県にある大学に入り、歴史を学びました。ところが大学を出てもそう簡単に海外、中国に渡れるわけがありません。そこで、学習塾に勤め、その中で実績を積み、27歳の時にやっと長期休暇を取りシルクロード、新疆ウイグル自治区に行きました。カザフスタン、当時はソビエト連邦の時代でした。ここに展示している民族衣装をごらんになってください。絣です。絣というと日本のものと思われがちですが、実は絣はインドで今から2,000年以上前に発明された織物です。それがヨーロッパに伝わり、中央アジアにも伝わったものです。かつては絣の模様、色合いは年齢によって決まりましたが、今ではデザイン性も、色づかいも色々なものが出てきました。帽子もいろんな形のものがあります。刺繍、飾り物、これらは全て意味合いがあります。民族

を表す形、紋様、飾りです。例えばキルギスの人だと、家畜が全財産ですから、彼らの家畜である羊の刺繍があります。遠くからでもかぶっている帽子を見ると瞬時にどこの部族かわかるわけです。

ところで皆さん、砂漠というとどんなイメージをお持ちですか。砂や石ころばかりの土地を想像されますよね。確かにそんなところもありますが、こちらの写真で見ていただく通り、普通の都市で、地下鉄もあります。私が初めて訪れた30年前は、女の子は学校から帰るとすぐに天秤棒を担いで水汲みに行っていました。ところが今は、水道が張り巡らされています。ただ街から一步踏み出すと、砂漠ではなくて土と石の大地です。ですから、この土地の人々は色に対する憧れが強い思いとしてあるのです。先程見ていただいた、民族衣装や帽子などの色鮮やかさからわかっていただけたのではないのでしょうか。この写真は私の友人の家です。壁、天井、絨毯などなど、花、鳥、緑を家の中に再現しているのです。夏は摂氏40°越えですが湿度が低いので陰では冷んやりとして涼しく、また果物がとても豊富です。

私は、ウイグルの民族衣装をはじめ、色々な小物を1,000点以上集めていますが、これはウイグルの人たちからお預かりしているという気持ちでいます。いずれウイグルの人たちのもとに戻したいと思っています。彼らは自分達の文化の素晴らしさ、良さに気づいてない。私は声を大にして預かっている!と言いたいです。そのうち政情が安定すればお返したいと思っています。

私の従兄弟伯父に、皆さんの中ではご存知の方もおいでになるかとは思いますが、黒田明憲という者がいます。彼は江の川の漁撈文化に光を当て、多くの漁労民具を収集しました。それらは現在三次風土記の丘資料館に収蔵されています。その漁撈のための道具も実際使われていた人々からすると何も価値あるとは思われない、ただの道具でしたが、それらのものは、この地域の民族史からすると、とても貴重なものなのです。まさにウズベキスタンの民族の文化もそれと同じと思うのです。

最後に、お手元に「ペシャワール会報」をお配りしてい

